

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243
E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

身近なエネルギーを知る 太陽光発電勉強会の開催!

2月5日(日)、紫波町中央公民館において、『第2回身近なエネルギーを知る-太陽光発電-』をテーマに勉強会を開催しました。講師は、みらい研究所の会員でもある環境エネルギー普及(株)の中尾氏。太陽光発電のしくみや基礎知識、また、導入時の注意点や落とし穴、故障時のメーカー保証などのこともわかりやすく説明していただきました。

参加者の一人は、「初期費用がとても高額なので、導入することに不安を持っていたが、かなり詳しく説明していただいたので検討してみようかなあという気持ちになった」と話していました。導入するしないは、きちんと長所も短所も調べてからがベターですね。

紫波みらい研究所では、今後もこのような身近なテーマを題材に勉強会を開催していきます。町民の皆さんからのご要望をお聞きしますので、ご連絡ください。お待ちしております。



森のようちえん“りんくる” in 冬のビューガーデン開催

2月19日(日)ビューガーデンのご協力により、森のようちえん“りんくる”を開催しました。参加者は、子どもとその保護者7組、スタッフを入れて総勢31人。青空は望めませんでしたが、風がなく、小雪降る中、そりやタイヤチューブですべったり、雪の塊でオブジェを作ったりと雪遊びを楽しみました。そんな中、ニホンカモシカ2頭に遭遇!子どもたちは、エサを食べる姿を驚かせないようにじっと見つめていました。

さんざん遊んでのどが渇いたり、小腹が空いたりした子どもたちは、おやつのココアを飲み、ポップコーン、焼きマシュマロなどをほおぼって、「また遊ぶぞ~!」と思いついた場所に走って行きました。とっても楽しそう!よかった!

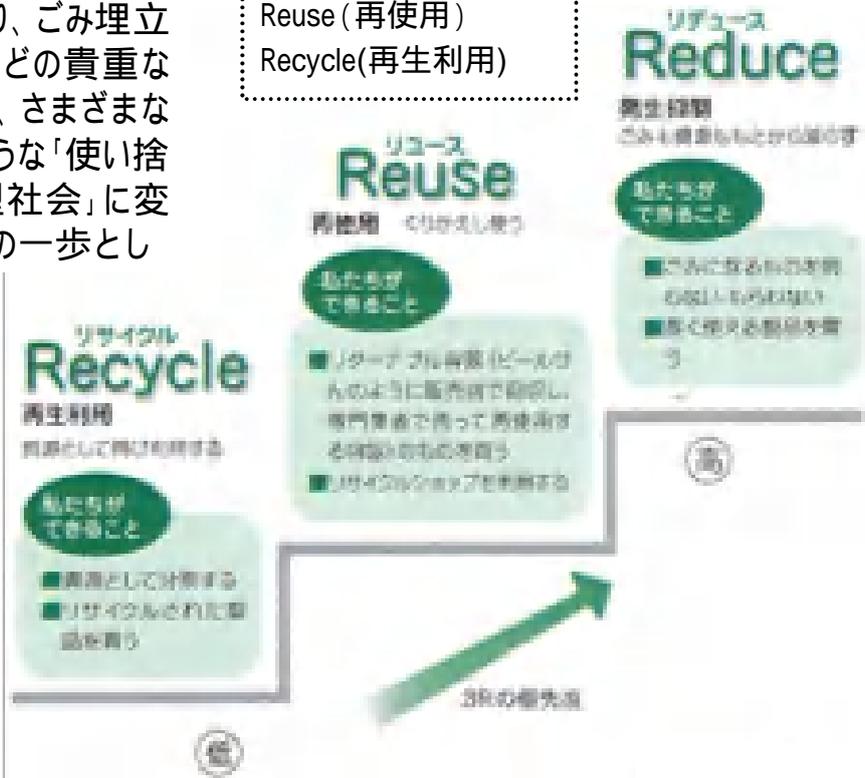


なぜごみの削減に3Rが必要なのか？

大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは、処理しきれないほどの廃棄物を生み出しました。それにより、ごみ埋立処分場が不足したり、石油などの貴重な資源の枯渇も心配されるなど、さまざまな問題が発生しています。このような「使い捨て型社会」から脱し、「循環型社会」に変えていく必要があります。最初の一步としてリサイクルが進められて

きましたが、それだけでは、資源の枯渇や二酸化炭素排出を止めることはできません。だからこそ、いま、3Rに取り組むことが大切なのです。

3Rとは、
Reduce (発生抑制)
Reuse (再使用)
Recycle (再生利用)



出典

環境省-3R まなびあいブック-

環境を守るために廃油キャンドルづくりを作ろう！

紫波町では、燃えるごみの削減とBDF(バイオディーゼル燃料)の普及のため、家庭から出る使用済み食用油を役場や公民館(古館は除く)などで回収しています。回収量は、平成21年度1,470ℓ、22年度2,081ℓと着実に回収量が伸びています。BDFは、役場や個人のディーゼル車の燃料として使用されています。

本研究所にも回収BOXを置いて使用済み食用油の回収を推進していますが、別な利用方法として廃油キャンドルづくりも進めています。特にむずかしくなく2時間ぐらいでできますので、老人クラブや女性団体などのイベントにぜひ、ご利用ください。みらい研究所で講師を派遣します。

廃油キャンドルを使うのは、停電になった時だけでなく、たまには電気を消し、ロウソクの灯りだけで過ごしてみてもいいかもしれません。節電効果も期待できますよ。

【問合せ先】 電話 672-2244
紫波みらい研究所 橋浦



【めぐりっと紫波】は、紫波町環境課の委託事業で発行しています。